

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与 1		作成日		30年 6月 26日		
事務事業名		感染症予防事業費				シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	2 人にやさしいまち				課名	健康づくり課		係名	
		2-1 健康に暮らすまちをつくる				シート作成者				
	施策	2-1-1 自らの健康づくりの推進				予算費目	会計		一般	
		⑥感染症対策の推進					款		4	
主要施策					項		1			
					目		2			
個別計画名										
住民との関わり		特になし								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）			目的（どういう状態にしたいのか）						
	事業所、学校等で、感染症（結核）に係る定期の健康診断を受けることができない者（主に65歳以上の住民）			感染症（結核）の早期発見及びそのまん延の防止						
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		年間1回、胸部エックス線撮影バスにて地域を巡回し、住民の結核に係る定期の健康診断を実施している。								
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度（年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし								
根拠法令・要綱等		感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律								
		平成28年度（決算）		平成29年度（決算）		平成30年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		0		2,899		4,001				
財源内訳	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他特定財源									
一般財源				2,899		4,001				
直接事業費（千円）A		0		2,899		3,275				
人件費（千円）B		0		0		726				
内訳	一般職員（人・千円）		人	0	人	0	0.11人	726		
	臨時職員（人・千円）		人	0	人	0	人	0		
成果指標	成果指標名			単位	29年度		30年度	31年度		
					目標	実績	(目標)	(目標)		
	①	人口10万人対結核罹患率		%	10以下	11.9	10以下	10以下		
	②	定期結核健康診断受診率		%	40	36.4	40	40		
③										
説明		①人口10万人対結核罹患率は国が掲げる2020（平成32）年までの目標。平成29年度実績は平成28年12月31日現在の数値。（出典：桑名保健所年報） ②定期結核健康診断受診率は65歳以上住民の結核健康診断受診率。（2,591人／7,109人）								

事業名	感染症予防事業費	シート作成課	健康づくり課
-----	----------	--------	--------

一次評価者	健康づくり課長	二次評価者	福祉部長
-------	---------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明		
	一次	二次			
必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第53条の2第3項において、市町村に結核に係る定期の健康診断実施が義務づけられています。	
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	厚生労働省の指針等に基づいて実施しています。	
達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	人口10万人対結核罹患率は平成29年は10を上回りましたが、前年度は7.9と目標値を達成しました。	
効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	指名競争入札にて業者を選定契約しているので、コスト面については競争性が担保されています。	

本事務事業の実施適切性の説明

法律により実施が義務化されている事業です。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
今後の方針	休・廃止	見直し		継続	拡大		
	○						
今後の改革・改善目標	結核は過去の病気と捉えがちですが、撲滅までには至っていません。検診受診率は昨年度と比較して増加していますが、今後も未受診理由を把握するとともに、検診受診の啓発を行う必要があります。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
今後の方針	休・廃止	見直し		継続	拡大		
	○						
コメント	法律で定められた事業であり、継続して実施します。受診率の向上に努める必要があります。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--